

令和4年度 大分県 「生涯を通じた障がい者の学び支援事業」について



九重青少年の家 ワンデイキャンプ



大分大学生涯学習講座

大分県教育庁社会教育課

生涯を通じた障がい者の学び支援事業 ～共に生き、学ぶ社会の実現に向けた生涯学習支援に関する実践研究～

障がい者を巡る現状と課題

- 生涯学習に関するニーズや実態(学習団体や活動者数、活動内容等)を把握できていない。
- 卒業後、自立や社会参加、健康維持のための体育的・文化的・芸術的な学びを継続して行える場やプログラムが少ない。
- 生涯学習に関する情報を得ることが難しい(したいことがあっても窓口が見つげづらい)。
- 生涯にわたり学び続ける必要性についての県民の理解や協力への意識付けが十分でない。

～共生社会の実現に向けた、障がい者の生涯学習支援～

具体的取組

【推進協議会(コンソーシアム)の実施】(年3回)

(構成) 県教委(社会教育課、特別支援教育課) 県福祉保健部、特別支援学校、大分大学、大分市・別府市教委、県社会福祉協議会、企業、当事者団体、芸術文化・スポーツ団体

【調査研究】(令和4年9月実施)

(調査テーマ) 「障がい者の生涯学習」に関する実態およびニーズ調査
(目的) 生涯学習に関する実態およびニーズに関する調査と分析を行い、現状と課題を把握して今後の取組に活かす。
(対象) ①特別支援学校高等部3年生、保護者、教職員 ②公立社会教育関係施設
③市町村の生涯学習担当課 ④障がい者就労支援施設

【実践研究】

- 大分大学生涯学習講座(5回)
- 香々地・九重青少年の家 ワンデイキャンプ(4回)
- 豊後大野市千歳公民館 ひょうたんカレッジ(5回)



【普及啓発】

- 公民館職員研修を実施(県立図書館)
- 「ともに学び、生きる共生社会コンファレンス～おおいたでかたろうえ!～」を開催し、情報共有と成果普及
- 障がい者の生涯学習に関する情報発信 ①専用サイト「かたろうえ大分」開設 ②啓発リーフレット作成 等
- 特別支援学校での生徒・保護者に対する啓発(3校予定)

効果

- 障がい者の生涯にわたる学びの場の拡大・充実
- 障がい者の喜びや生きがいの創出
- 地域の中で自立して健康的な社会生活を営むために必要な力の維持・開発・伸長

I コンソーシアム

No	業態別	所属	職名	氏名
1	学校	国立大学法人大分大学教育マネジメント機構 基盤教育センター	教授	岡田 正彦
2		国立大学法人大分大学教育学部	教授	衛藤 裕司
3		大分県立大分支援学校	校長	清末 直樹
4		大分大学教育学部附属特別支援学校	校長	後藤みゆき
5	社会福祉関係団体	社会福祉法人大分県社会福祉協議会 あすぴあおおいた	所長	加藤 寿代
6		大分県障害者社会参加推進センター	事務局長	高窪 修
7		社会福祉法人太陽の家 大分広域本部 健康支援課	課長	池部 純政
8	芸術文化・スポーツ団体	おおいた障がい者芸術文化支援センター	センター長	横山 勝也
9		大分県障がい者スポーツ協会	事務局次長	関 隆晴
10		ヨカたの(大分市立南大分中学校教諭)	代表	松尾 卓也
11		レッツダンスでガッツ元気の会(大分大学名誉教授)	主宰	麻生 和江
12	当事者団体	公益社団法人大分県手をつなぐ育成会	会員	藤近さと子
13		NPO法人自立支援センターおおいた	シニアマネージャー	押切 真人
14			相談支援専門員	五反田法行員
15		公益社団法人大分県精神保健福祉会	会長	神田 弘法
16	企業関係者	ソニー・太陽株式会社 人事総務部広報・CSR室	室長	佐藤 祐親
17	行政関係者	大分市教育委員会社会教育課	指導主事	工藤 幸子
18		別府市教育委員会社会教育課	社会教育主事	永尾 美保
19		大分県福祉保健部障害者社会参加推進室 地域生活支援・芸術文化スポーツ推進班	主幹(総括)	関 隆晴
20		大分県教育庁特別支援教育課指導班	指導主事兼課長補佐(総括)	岡本 崇
21			大分県教育庁社会教育課	課長

協議 <テーマ>

- ・「県下で取組を普及させるための方策について」
 - ・「調査結果を踏まえた講座・プログラムの開発について」
 - ・「ボランティア・支援者の育成について」
- 議事録はHP「かたろうえ大分」に掲載

第1回コンソーシアム(6/28)の様子



第2回コンソーシアム(11/16)では分科会に分かれて協議しました。



Ⅱ 調査研究

令和4年9月実施 回答数1,080件(回収率71%)

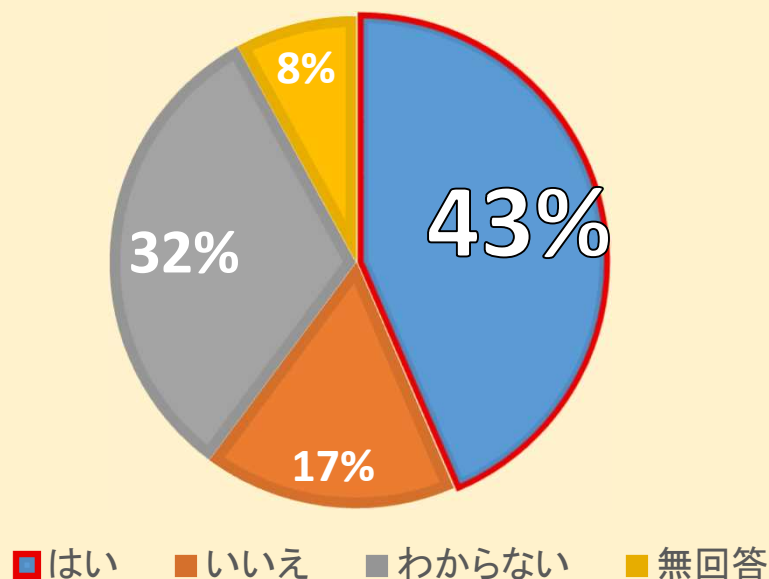
【対象】 ①特別支援学校高等部3年生、保護者、教職員 ②公立社会教育関係施設
③市町村の生涯学習担当課 ④障がい者就労支援施設

【内容】 学校以外の学びについての実態やニーズ(取り組みたいこと)、学びをするうえで必要なもの

<当事者アンケートより抜粋>

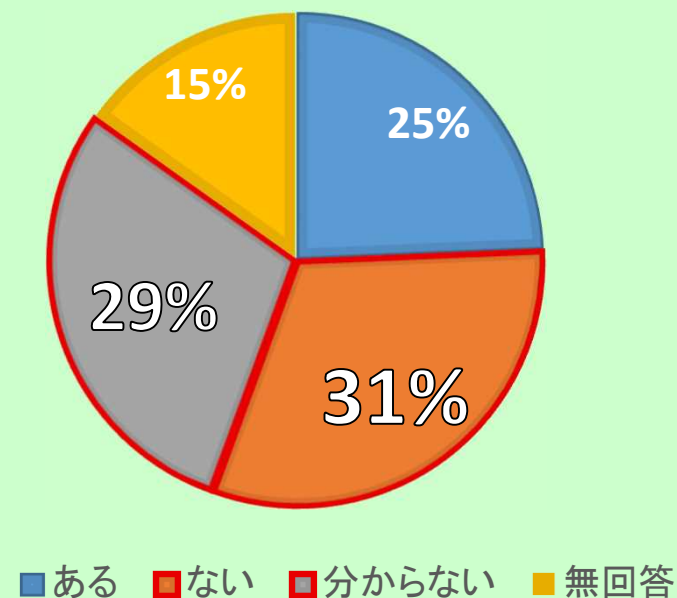
問: 学校卒業後も何らかの学びを
続けたいと思っていますか。

(回答者数: 10代~30代の障がいのある方243名)



問: 地域の中で、学校や職場、病院などの医療・福祉関係施設以外に気軽に
出かけていける場所がありますか。

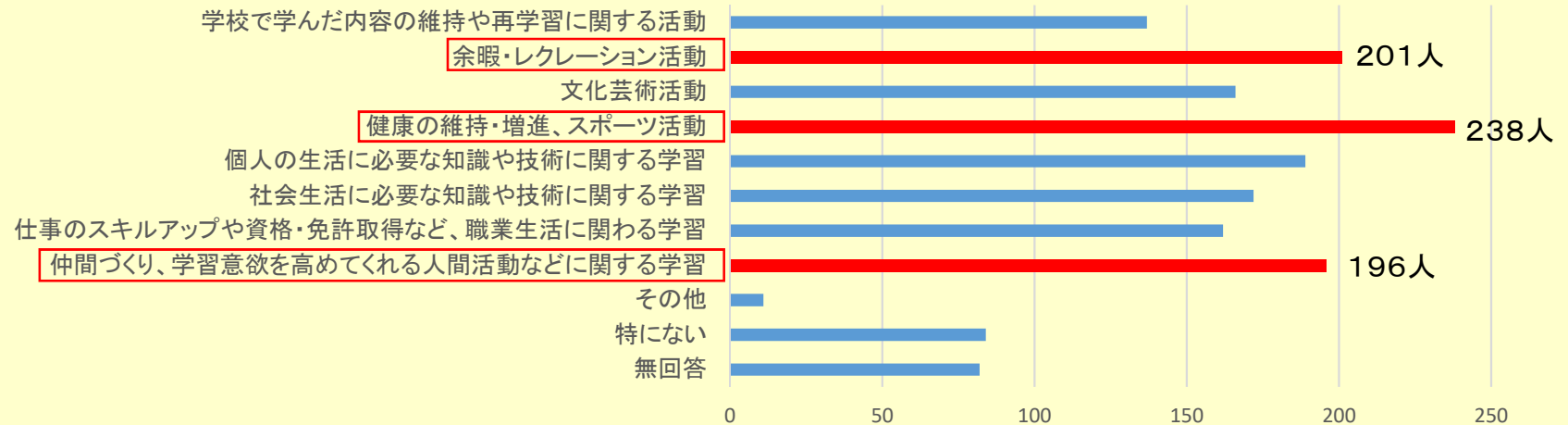
(回答者数: 567名)



<当事者、家族・職員・支援者アンケートより抜粋>

問: 今後してみたいと思う学びはどれですか。

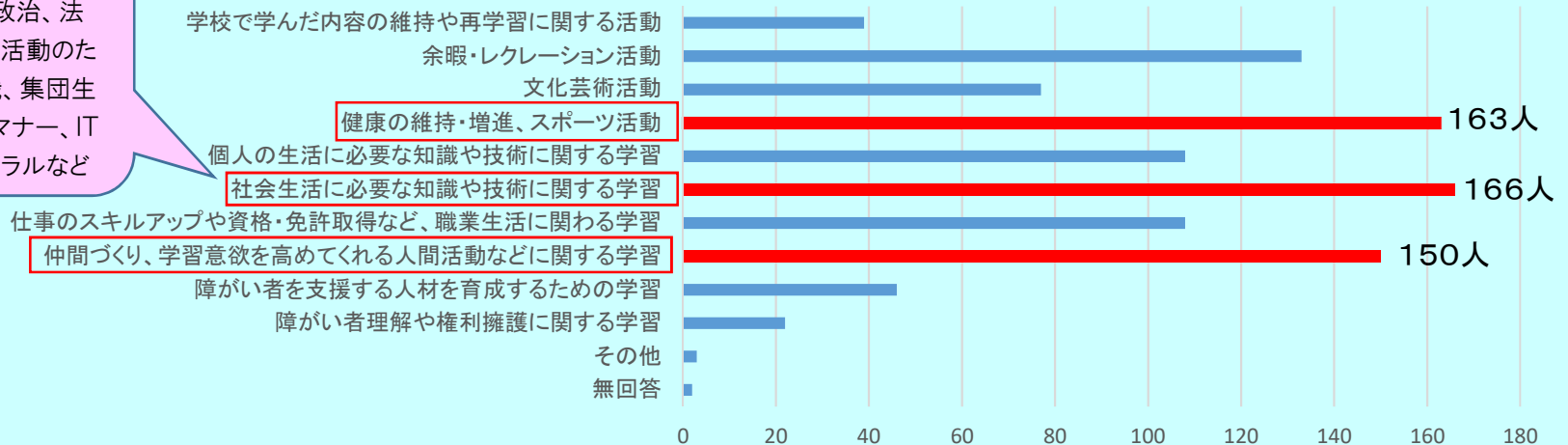
障がいのある方(回答数:567名 複数回答可)



問: どのような生涯学習活動があるとよいと思いますか。

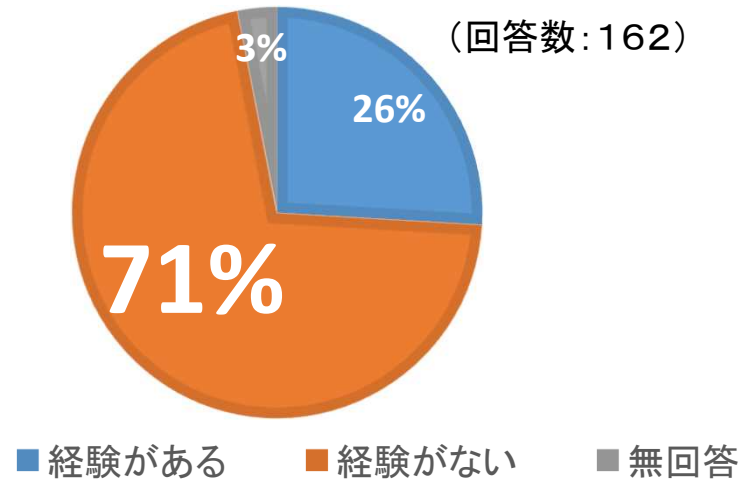
家族・職員・支援者(回答者数:338名 複数回答可)

金銭の管理、資格や免許に関すること、政治、法律、ボランティア活動のために必要な知識、集団生活でのルール、マナー、ITスキル、情報モラルなど

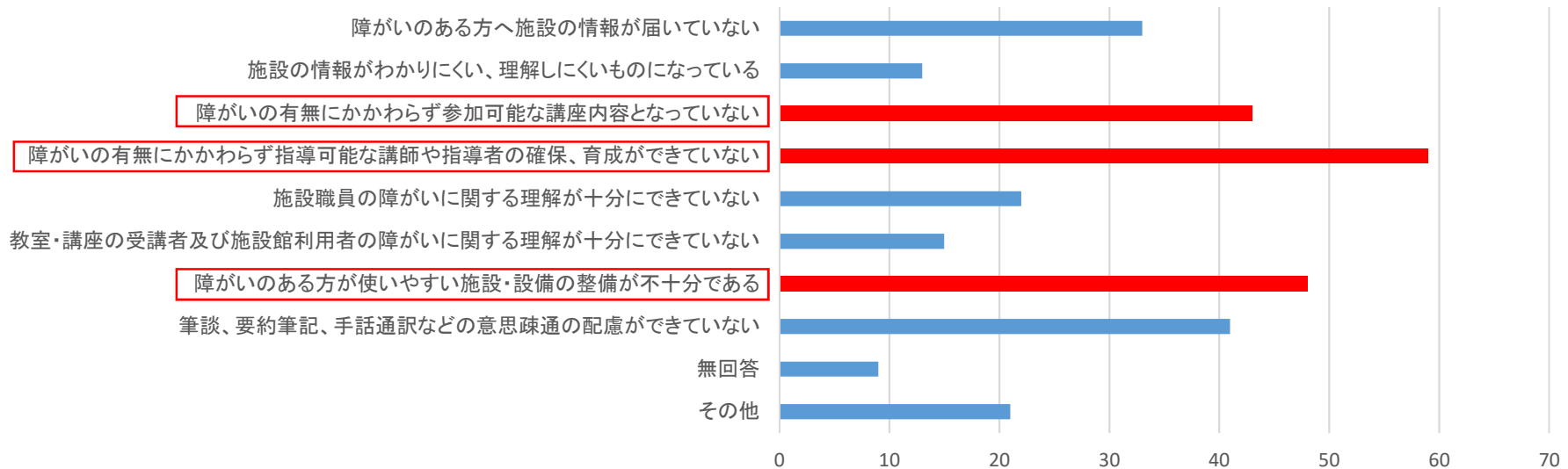


<社会教育関係施設(公民館、図書館、美術館等)対象アンケートより>

問:「障がい者の学び支援」に関わった経験がありますか。



問:「経験がない」の理由として考えられるものは何ですか。(回答数:162 複数回答可)



Ⅲ 実践研究 大学や社会教育施設でのプログラム開発

①大分大学 生涯学習講座

受講者:知的障がい者4名(公募)

内容:ダンス・太極拳+座学(ワークショップ)

①11/12 ②11/26 ③12/3 ④12/10 ⑤12/24

受講者1名あたり学生ボランティア2名体制で支援。

特別支援学校教員2人がメンターとして全体を支援



話し合った結果を一緒に発表

<受講者の感想>

- ・新しい自分を発見することができて、とても自分のための勉強になった。(20代女性)
- ・話し合う人と出会えて良かった。(20代男性)

<ボランティア学生の感想>

- ・個別的な対応の在り方やその重要性を感じた。
- ・仕事に対して意欲的で前向きな受講者の方の姿勢は尊敬できると感じました。

これまで高等教育機関や社会教育施設での講座・プログラムがなかった…

②県立香々地・九重青少年の家
ワンデイキャンプ(全4回)
→詳細は事例発表にて!

③豊後大野市千歳公民館
「ひょうたんカレッジ」(全5回)
→詳細は事例発表にて!

IV 普及啓発

【研修】

公民館職員研修

①7/14 講義「秋田県の障害者の生涯学習支援モデル事業」
＜秋田県能代市中央公民館＞ 参加者87名



②9/16 体験「ボッチャ、フライングディスク、卓球バレー」
体験講座：大分県身体障害者福祉センター（あすぴあ）支援
講義「公民館が行う知的障がい者支援」＜兵庫県朝来市＞
参加者31名



【広報】

障がい者の生涯学習専用WEBサイト「[かたろうえ大分](#)」開設



【啓発】

- ・特別支援学校高等部3年生および保護者対象の講座「卒業後にやりたいことを考えてみよう！」を2月実施予定(3校)
- ・九州・沖縄ブロックコンファレンス(2/4 別府市市民会館)

成果と課題

<成果>

- ・障害福祉、特別支援教育、社会教育関係者の連携体制構築
- ・生涯学習に関するニーズと実態調査をはじめて実施
- ・大分大学、青少年の家、公民館での講座開設
- ・専用情報サイト「かたろうえ大分」開設

<課題>

- ・県内にどう広げていくか
- ・障がいのある方自身が情報を手に入れられるシステムづくり
→ネットと紙媒体での情報提供
- ・「かたろうえ大分」の内容充実(情報収集と発信)
- ・学校教育から生涯学習への「接続」「移行」をスムーズにする工夫
- ・ボランティア、支援者の養成
- ・講座内容の拡充(動画教材の開発等)